

エヒメアヤメ

Iris rossii

アヤメ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB



種
子
植
物

低地から山地の、火山性高原の草原や林縁に生える草丈10～15cmの多年草。大陸系遺存植物で、九州は分布の南限域にあたる。5月ごろ花茎の先に1個、鮮やかな青紫色の花をつける。葉は花時には花茎と同じくらいであるが、後に伸びて30cm内外に達する。古い葉の基部は繊維状になって残る。植林や草地改良、野焼きの停止などによる環境変化で生育地が減少し、人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真：荒金正憲 文：生野喜和人)

県内分布 国東地区，九重火山群，由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域

分布域 本州（中部地方西部），四国，九州（佐賀・大分・宮崎）

朝鮮半島，中国（北部・東北部）

国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう，瀬戸内海]